

医療・介護従事者をはじめ、新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでいただいている大勢の皆様へ、心から感謝申し上げます。いよいよ、医療従事者を中心に、新型コロナウイルスのワクチン接種が始まりました。

山下浩昭は、公明党の一員として、安心の社会へ、いのちと暮らしを守るため、コロナ禍克服に向け、検査体制の拡充やワクチン接種体制の整備、そして生活給付金支援や中小企業・個人事業主支援等に全力で取り組んで参ります。



令和3年2月定例会 教育常任委員会での質問

1. 府立支援学校の環境改善について

(府立学校施設の老朽化対策は、府の長寿化計画に基づいて改築・改修されるが)支援学校については、老朽化と違った観点で、(狭い廊下や段差など早期に、)学校環境の改善を行うべき。との質問に対し、小中学校などから転用して支援学校としたもの等について、「今年の夏ごろまでには、これらの状況把握、点検・評価を完了させ、対策が必要なものについては、必要な予算確保も検討し、しっかり対応していく」との回答を得ました。その上で、特に危険なヶ所については、事故等が発生する前に、早急な対応するよう重ねて要望しました。



「子どもの興味・関心がインターネットを通じたものに向いていることを踏まえ、SNSによるおすすめ本の紹介を継続・充実するとともに、読書イベントの動画配信や、電子書籍の活用検討などに取り組む。」との回答を得ました。

4. 「読書バリアフリー計画」の策定について

「大阪府視覚障がい者等の読書環境の整備に関する計画」、いわゆる「読書バリアフリー計画」の策定については、「関係機関にリーフレットの配付やポスター掲示などの協力を求め、『視覚』や『肢体不自由』の方に対し、府立図書館の読書支援サービスの情報提供を進める。」との回答を得ました。

5. 「学校における読書活動の推進」について

専任の司書等の配置や、司書がいなくても学校図書館を活用する様々な工夫を行うべきと指摘しました。

6. 「小学校すくすくテスト事業」について

府内の5・6年生に対し、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力等を向上させ、これからの社会を生き抜く力をつけることを目的に、新たに取り組む「小学校すくすくテスト事業」については、一人ひとりに返却する個人票を通して、その児童のよさや課題点等について、的確な学習アドバイスをすること。また、同時に行うアンケート調査を分析して得られた効果的な取組みを府域の学校で実践し、課題解決につなげるよう合わせて要望しました。

2. 日本語指導について

今後、日本語指導が必要な児童生徒の人数の増加及び、少数多校に散在化することが予想され、生活指導面の支援も重要になってきます。にもかかわらず、来年度の府の日本語指導推進事業費は大幅に減額されており、心配していると指摘。決してこれまでの取組みを後退させることなく、一人ひとりの児童生徒に必要な支援が届くよう、外国人児童生徒支援員や夜間中学の日本語指導支援員の拡充と、府立高校の日本語指導についても、支援体制の在り方等も改善するよう要望しました。

3. 「第4次大阪府子ども読書活動推進計画」について

本を全く読まない子どもを減らすには、効果が期待できる取組みの継続や、社会情勢の変化を踏まえた新たな取組みとともに、その取組みを市町村や民間事業者などとも連携して実施する事が必要である。との質問に対し、

委員会の模様は、大阪府議会ホームページにて
▶ <http://www.gikai-chukei.jp/>



みなさまの声をカタチに!

音の出る信号機に更新

市道大阪瓢箪山線と中央環状線とが交差する「西岩田2丁目西」・「西岩田2丁目東」交差点の信号機が、「音の出る信号機」として更新・運用開始されました。視覚障害の方から、「道路幅が広く横断が危険な為、盲人用信号機を設置して欲しい」との要望を実現。



歩道橋の改修を推進

府道702号線・通称「産業道路」上、西堤学園町1-1付近に設置されている歩道橋の改修工事が完了。地域の方々から、「通学路でもあり、階段も腐食しているので、改修してほしい」との要望が実現。



自転車ゲートを改修



府営久宝寺緑地公園の入り口に設置されている自転車ゲートの3箇所が、新たな自転車ゲートへと取り替えられました。「後部チャイルドシート付アシスト自転車等が通過できないので、解決してほしい」との要望を実現。



多くの喜びの声を頂きました!

山下浩昭ホームページはこちら。
▶ <http://www.h-yamashita.jp>

